

各都道府県地域振興担当部長 }
各都道府県市町村担当部長 } 殿

総務省地域力創造グループ
人材力活性化・連携交流室長
(公 印 省 略)

子供の農山漁村体験の充実について

平素より地域活性化の推進に格別の御協力を頂き、厚く御礼申し上げます。

標記事業の充実が、「まち・ひと・しごと創生基本方針2020」（令和2年7月17日閣議決定）に位置づけられたことを踏まえ、当省の事業について、以下のとおりとりまとめましたので、ご留意の上、子供の農山漁村体験の推進について、格別のご配慮をお願い致します。

貴都道府県内各部局（教育委員会体験活動担当課を含む）、及び都道府県内市区町村に対して、この旨、周知頂くとともに、事業実施を希望する部局、市区町村がございましたら、別添資料等をご参照の上、御提出ください。

記

1. 支援措置等

（１）「都市・農山漁村の地域連携による子供農山漁村交流推進支援事業」

送り手側・受入側双方が連携して宿泊体験活動の実施体制の構築に取り組む地方公共団体をモデルとして実証調査を行い、その事例やノウハウを横展開することにより、子供の農山漁村交流を推進しています。

今年度は、令和2年10月5日付け事務連絡により、交流推進支援事業の募集を実施しているところ、積極的なご活用をお願い致します。

なお、同取組については、同一都道府県、同一市区町村での実施も可能である旨申し伝えます。

（２）「子供の農山漁村体験交流計画策定支援事業」

長期間継続できる体制を構築するため、効果的な取組内容や、取組にかかる課題解決について研究・検討を行い、この活動に取り組む地方公共団体のモデルとなる「子供の農山漁村体験交流計画策定支援事業」を実施しています。

本事業を活用し、感染予防対策や緊急時の連絡体制の整備、受入体制の構築、オンラインを活用した事前・事後交流の実施など、コロナ禍における対面での交流を見据えた計画策定が考えられ、子供の農山漁村交流の充実に向けた積極的な準備が考えられます。

併せて、下記（４）により、対外的に受入体制を示す資料としても活用頂けます。

今年度は、令和2年10月5日付け事務連絡により、計画策定支援事業の募集を実施しているところ、積極的なご活用をお願い致します。

(3) 「子ども農山漁村交流プロジェクトセミナー」

先進事例や課題解消に向けた創意工夫の事例、国の支援施策等について情報を提供するとともに、関係者間のネットワークを形成するためセミナーを全国各地で開催しています。

令和2年度は、「コロナ禍における子ども農山漁村交流の取組のあり方」をテーマとし、新しい生活様式を踏まえた農山漁村交流や、感染拡大予防の取組について実施致します。詳細は、令和2年9月15日付け事務連絡（別添）のとおりです。なお、新型コロナウイルス感染拡大等に起因する諸般の事情を鑑み、すべての会場において、オンライン会議（ZOOM）での参加も可能ですので、開催日程によらず、積極的なご参加をお願い致します。

(4) 「子供農山漁村交流マッチングリスト（仮称）」

送り手側が交流先を検討する際に、交流計画の有無や農山漁村体験の内容など、受入側に関する情報を一元的・総覧的にした有益な情報を提供することにより、子どもの農山漁村体験の取組をより一層推進する目的として、今年度の実施を予定しているところです。

同事業を実施の際は、ご協力をお願い致します。

(5) 地方財政措置

地方公共団体が、小学生、中学生の農山漁村体験に関連した費用を負担する場合、その一定のものにつき、地方財政措置（特別交付税）による支援措置を講じています。

2. 添付資料

別添1：R2子ども農山漁村交流プロジェクトセミナー開催通知

【担当課】

総務省 地域力創造グループ 地域自立応援課
人材力活性化・連携交流室

担当）早川専門官、井上係長、會澤

TEL：03-5253-5394(直通)

e-mail：jinzai.renkei@soumu.go.jp